



武蔵台学園だより 4月号

東京都立武蔵台学園 校長 金子 猛
〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-8-28
電話 (042) 576-7491 FAX (042) 576-7526

ホームページアドレス <http://www.musashidai-sh.metro.tokyo.jp/>

アフターコロナに向けて、新年度のスタートです！

校長 金子 猛



知的障害教育部門では300名の児童・生徒、126人の教員で、病弱教育部門では都立小児総合医療センターに入院している小・中学生を対象に57人の教員で、そこに経営企画室の行政系職員9人を加え、武蔵台学園の令和5年度がスタートしました。私は着任2年目を迎えましたが、昨年度に引き続き人権の尊重等をさらに推し進めるとともに、新たな教育課題に全力で取り組んでいく所存です。

アフターコロナに向けて、教育活動もコロナ禍の前に戻っていきます。ここで大切なのは、単に戻すというのではなく、改めてその活動の目的を吟味し、より充実した内容にバージョンアップすることです。昨年度の後半は、サッカー・ワールドカップやワールド・ベースボール・クラシックなど、胸が躍り気持ちが高揚する出来事がありました。学校生活においても活気あふれる活動が展開できるよう、必要な集団感染防止策を取りながら進めてまいります。

昨年3月に東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画が策定され、令和6年度までの3年間においてデジタルを活用した教育など社会状況等の変化に対応した教育を進めることで、全ての学びの場における特別支援教育の充実を図っていく具体的な計画が示されました。それを受け、本校も共生社会の実現に向け、障害のある子供たちの自立と社会参加を目指して教育活動を展開いたします。

子供たちにとっては、毎日がかけがえのないひとときです。「もっと分かりたい」「できるようになりたい」。キラキラと輝く瞳で学ぼうとする意欲を大切に、教育内容の充実に立ち止まることなく取り組んでいきます。そして保護者の皆様から信頼され、安心してお子様を送り出していただけるような学校にしていきます。ご心配なこと等がありましたら、どんなに小さなことでも学校にご相談ください。

また、本校は、地域から頼りにされる学校でありたいと願っています。これまで、特別支援教育のセンター的機能の発揮に努めてきました。昨年度から、小・中学校への支援に加え、近隣の都立高校との連携もスタートしました。本校がもつ教育の専門性を活用していただくなど、可能な限りのお手伝いできればと考えています。

教員は、退職するまで研鑽に励み続けることが求められています。それと同様に、学校も進化し続けなければなりません。本校にかかわる全ての方々におかれましては、未永くご支援くださいますようお願い申し上げます。

